

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市鷺羽山レストハウス
(2) 指定管理者	所在地 岡山県倉敷市大島 1 6 6 6 番地の 2 名 称 株式会社下電ホテル 代表者 代表取締役 永山久徳 (令和 6 年 4 月 1 日から令和 6 年 6 月 3 0 日まで) 所在地 岡山県倉敷市大島 1 6 6 6 番地の 2 名 称 F J D 株式会社 代表者 代表取締役 有野慎一 (令和 6 年 7 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで)
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市文化産業局文化観光部観光課
(4) 評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は「満足度向上に向けた取り組み」と「広報」に重きを置いて評価を行った。「満足度向上に向けた取り組み」では、令和 6 年度ではお土産品の販売において、商品選定に対しての取組が強化されていた。季節の商品に合わせたディスプレイを作成し、利用者を楽しませる売り場づくりが意識されていた。商品の選定の際には、県内の業者と意見交換を行う場を設け、新たな商品の提案が受け入れられるような場が設けられていた。 また、「広報」については特に瀬戸内海国立公園指定 9 0 周年に関する取組に着目して評価を行った。お土産品の選定の際には瀬戸内産の商品展開を意識し、利用者に瀬戸内海に親しみを持ってもらえるような売り場づくりが行われていた。	総合評価
		B

	また、岡山県・香川県の両県が主催する 90 周年を記念したスタンプラリーのスポットとして協力し、瀬戸内海国立公園の特別地域に位置する観光施設として広報が実施されていた。 一方で利用者数の減少や、収支状況については改善が必要であり、アンケート結果によると利用者満足度も減少していることから今年度の総合評価を B とした。	
(2) 指定管理者の自己評価	令和 6 年度はレストラン等において利用客数が、半減してきていたもので、7 月よりテイクアウト用スナックメニューを考案して立ち寄りのお客様の利用率を向上させて売上 UP を図った。その効果があり、8 月からはレストラン等の飲食の売り上げが UP した。 年間を通してコロナ禍での旅行等の規制が解除されたため、個人・団体等の旅行客は増えてきている。特にインバウンド客や旅行会社の企画旅行等の観光客数が増えてきていたが、インバウンド客や修学旅行生・一般団体観光客の昼食・夕食利用にはつながらずレストランの全体売り上げは伸びなかった。 また、旅行会社の企画旅行（インバウンドも含む）での立ち寄りのお客様も増えてきているが、休憩での利用のみで、売店利用が少なく売店の全体売り上げが伸びなかった。	
(3) アンケート結果の概要	「全体の満足度」は 85 % の満足度（満足・ほぼ満足）となっており、前年のアンケート結果から 12 % 減少している。 また、「職員の対応」「施設の清潔感」においても、前年度比で満足度が微減していたが、「安全対策」の満足度は 94 % となっており、修繕状況や設備点検等の管理は適切に行われていたことが窺える。	

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	鷺羽山レストハウス利用者数 <table> <tr> <td>令和 6 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr> <tr> <td>27,676 人</td><td>36,854 人 (前年度比 75%)</td></tr> </table>	令和 6 年度	令和 5 年度	27,676 人	36,854 人 (前年度比 75%)
令和 6 年度	令和 5 年度				
27,676 人	36,854 人 (前年度比 75%)				
(2) 事業の内容	・レストハウスの有料施設（会議室及び和洋室）及び附属設備の使用の許可に関する業務 ・レストハウスの維持管理に関する業務 ・使用料の徴収に関する業務 ・レストハウスの設置目的を達成するための事業に関する業務 ・レストハウスの利用者の利便性を向上させるために必要な業務				

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	49,115 千円	
	市からの指定管理料（委託料）	0 千円	
	営業収入	40,265 千円	
	休業補償・負担金	2,006 千円	
	その他の収入	6,844 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	54,822 千円	
	主な支出	人件費	17,632 千円
		光熱水費	8,320 千円
		原材料費	17,443 千円
		その他経費	11,426 千円